

得

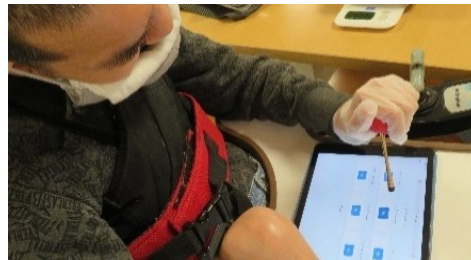
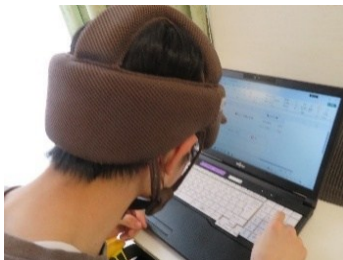
意を活かした作業支援の取り組み ～作業の正確性向上、役割の明確化、成功体験の積み重ね～



2便グループでは週に1回、全員で作業に取り組む日があります。自助具を使って個人で商品の数を数える方、支援員と袋詰めを行う方、またペアになってお互いの得意分野を活かしながら作業を進める方など、それぞれが役割を持って取り組んでいます。

ICTを活用した作業支援では、計りに商品を置く担当と、表示された数値を確認し、正解ならiPadのVOCA（音声出力コミュニケーション機：音声で気持ちを伝える機器）アプリで「ピンポン」、不正解なら「ブー」と鳴らす担当が協力して作業を行っています。お互いの「できること」を理解し合いながら進めています。

また、パソコンに興味がある方は進捗管理（専用のVBAシステム構築）を担当し、入力・印刷・進捗発表までを一貫して行い、大きく貢献しています。（記 大津）



研

修報告&予定

- 7月 感染症予防研修①
- 8月 感染症予防研修②
- 9月 東京都社会福祉協議会による外部講師依頼
- 11月 虐待防止マニュアル読み合わせ

防

災訓練&予定

- 6月 全体避難訓練
（避難経路確認、自衛消防組織図、役割確認）
消火器訓練・通報訓練
- 7月 防犯訓練
- 8月 水害訓練
- 10月 全体避難訓練
（避難経路確認、自衛消防組織図、役割確認）

施

設長より

暑さ厳しき折ではございますが、お変わりなくお過ごしでしょうか。

近年、日本でも気温が40℃以上になる「酷暑日」も見られ、体温より高い気温があたりまえのようになっています。皆さま暑さ対策を心がけ、日々乗りきっていきましょう。

本年度舎人あかしあ園には、新規の利用者が3名入られ、33名でスタートしています。それぞれのニーズに沿いながら、様々な活動にこの一年取り組んでいきたいと思っています。この「人舎人」でもご紹介させていただきますので、宜しくお願い致します。

お知らせになりますが、毎月第4金曜日の12:45より、江北ひまわり園さんのパンとヤクルトさんの販売を行っています。月1回にはなりますが、舎人周辺にお越しの際には、ぜひ当施設にもお立ち寄りいただければ幸いです。

ひと舎とひと



社会福祉法人あいのわ福祉会
Social Welfare Juridical AINOWA Organization

第42号

令和8年7月15日発行



Follow us on X and Instagram

〒121-0832 東京都足立区古千谷本町2-25-11 TEL03-3854-1741 FAX03-3854-1742

社会福祉法人あいのわ福祉会 舎人あかしあ園

発行責任者 北出 宏

1

便グループ ～ランチ外出を楽しみました！～

2～3名ずつの少人数グループで、島忠ホームズ草加舎人店へランチ外出に出かけました。

日暮里・舎人ライナーを利用し、公共交通機関での移動。駅のエレベーターを利用する際には、地域の方々が順番を譲ってくださったり、見守ってくださったりとする場面もあり、みんなで温かい気持ちになる、そんな経験も出来ました。

現地に到着後は、それぞれが選んだお店で昼食を購入。一人ひとりがスタッフの方とのやり取りも体験し、支払いまで。「どのお店にした？」「美味しいね！」と、みんなで会話をしながら食べる時間は、外出ならではの楽しみです！それぞれが、ランチを味わい、ゆったりとした時間を過ごしました。

ランチの後は、デザートを楽しめる方、お土産を選ばれる方、ペットショップを見て回られる方など、それぞれが思い思いの時間を過ごしました。興味のあるものに視線を向けたり、じっくり眺めたり、反対にあまり関心を示されない場面があったりと、その反応はさまざまでしたが、一人ひとりがご自身なりの方法で気持ちや意思を表現されていた外出活動でした！

少人数での外出だからこそ、一人ひとりの反応や変化を感じ取ることが出来たり、地域

の中で人との関わりを学び、さまざまな経験を重ねながら、自分らしく過ごすことのできた貴重な時間となりました。

今後も利用者の皆さんが安心して地域とつながり、豊かな経験を積み重ねていけるような活動を大切にしていきたいと思っています。

（記 田中）



視覚に不安（弱視）がある方や、画面のタップや操作が難しい方でも、声だけでAIに質問できる便利な方法をご紹介します。

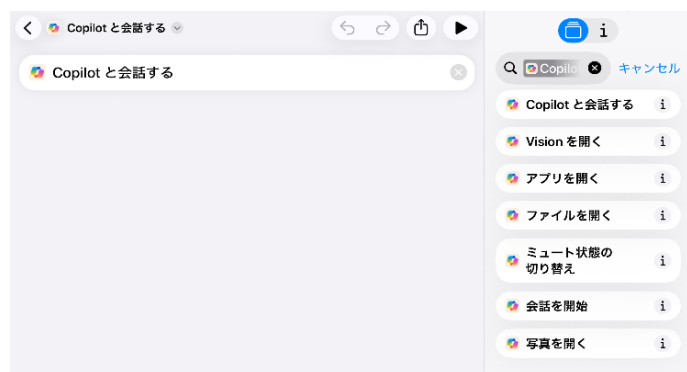
Siriとショートカット（自動化アプリ）を活用することで、AIを声で呼び出せるようになり、手を使わずにAIとやり取りできるようになります。今回は、Copilotでのやり方を記載します。あらかじめショートカットを設定しておく、「Hey Siri（ヘイシリ）、コパイロット」と呼びかけるだけでCopilotを起動できます。文字が見えにくい場面や、両手がふさがっているとき、操作に集中しづらいときでも、音声だけでスムーズに使えるため、安心してiPadを活用できる環境づくりに役立ちます。

※事前準備 iPadにMicrosoft Copilotをインストールし、一度起動してログインしておきます（2026年6月現在 iPadOS 26.3.1／仕様は変更される可能性があります。）。

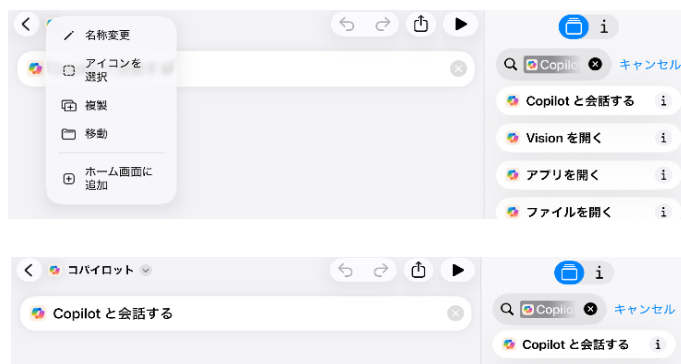
ショートカットについて
(apple 公式サイト)



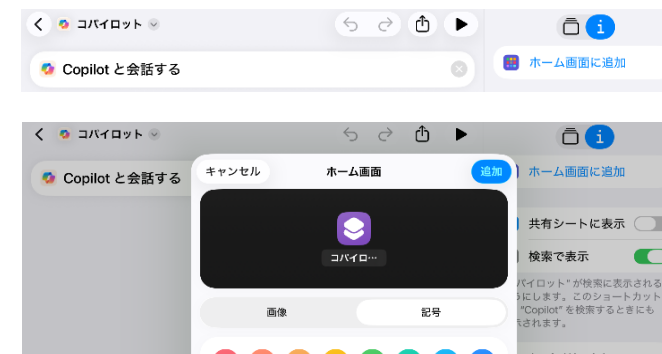
- ①ショートカットアプリを開き、一覧からCopilotを選択。「Copilotと会話をする」を選択。



- ②Siriでコールしたい名前に変更する。



- ③右側にある「i」をタップ後、ホーム画面に追加をタップ。



- ④ホーム画面に右記アイコンが配置される。（※環境によって表示や手順が多少異なる場合があります）

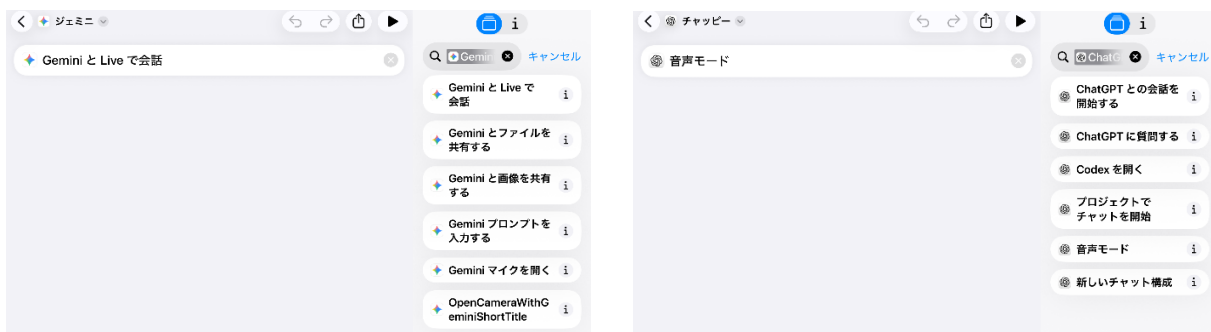
「Hey Siri（ヘイシリ）、コパイロット」と呼びかけることで、『Copilotとの会話する』を起動できます。その後、音声入力を使ってAIに質問（検索）や相談ができます。

※ ホーム画面から使う場合、追加したアイコンをタップするだけで、『Copilotとの会話する』を起動できます。



Gemini, ChatGPTも同様に可能です。

ショートカットアプリを開きGemini（左）では「GeminiとLiveで会話」、ChatGPT（右）では「音声モード」を選択していきます。（2026年6月現在 iPadOS 26.3.1）



実際にAIとの会話をされている利用者の方からのコメント

Aさん：今年の4月からAIと会話をしてみたいと支援員さんに相談しました。環境を作ってくれて、最初は、AIと会話するとき、タイミングやスピード（活舌）に慣れなかったけど、だんだんチャレンジしていくうちに慣れてきました。先日は、AIが教えてくれた旅行先の昼食スポットを実際に訪れたら「本当に美味しかった」です。AIと話せて楽しいです。

Bさん：Siri経由で3つのAIと会話できるので「すごく」便利です。音声コントロール（画面に触れずに声だけで端末を操作するiPadの標準機能）でAIと会話しようとする、マイクボタンをタップする必要がありますが、Siri+ショートカット経由だと手順が少なくて本当に楽です。

※個人情報や機密情報を入力しないこと、またAIが誤った情報を回答する場合があることについて支援しています。
※支援員と利用者の方が一緒に、AIに正しい答えを導いてもらうための「質問の仕方」を学んでいます。

※本記事に掲載しているアプリ画面のスクリーンショットは、解説を目的として引用しています。Microsoft Copilot、Google Gemini、OpenAI ChatGPTは、各社の登録商標または商標です。

ICT支援は、本来、機器やシステムを導入すること自体が目的ではありません。大切なのは、利用者の方一人ひとりの障がい特性や得意なことに合わせて、「できること」や「楽しみ」、「役割」や「社会参加の機会」を広げていくことです。2便グループでは、「ICTを使うこと」を目的化せず、アナログな方法も含めて、利用者の方の「思い」や「困りごと」に寄り添いながら、**支援の目的に応じて最適な手段を選択しています**。これまで、GPSとGoogleマップを活用した通所訓練支援（Web Push通知機能を備えたウェブアプリケーションの開発）、iPadのアクセシビリティ機能を活用した支援、Excel VBAによる音声アナウンスシステム（リスクマネジメント・インフォメーションツール）の開発など、ICTを柔軟に取り入れた取り組みを行ってきました。また、自発性や個々のペースを大切に「スヌーズレン活動」や、施設外での体験活動なども企画・実施しています。詳しくは右記のQRコードからご覧ください。（記 大津）

